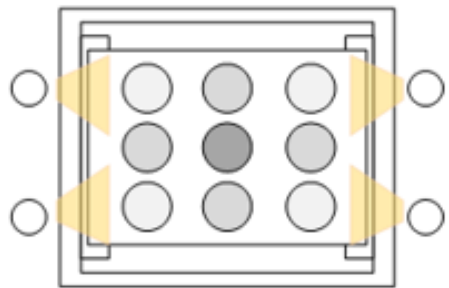
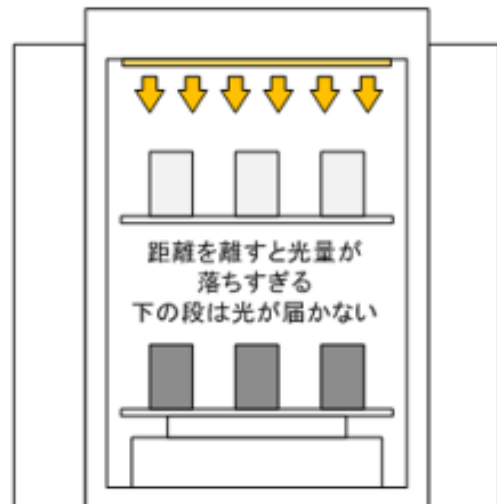
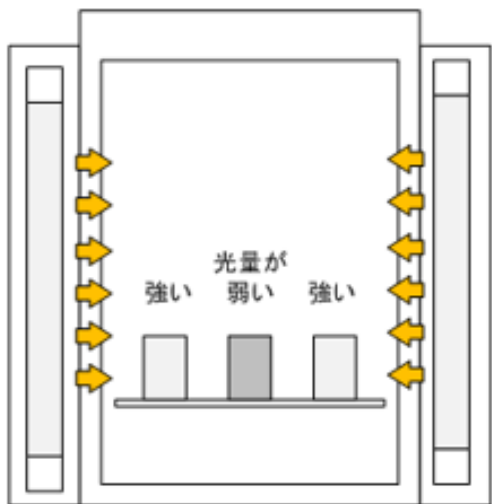


安定した藻類
培養環境を
構築する



フラスコに安定した光を照射するには



通常の側面照射では
光の当たり方は均一とは言えない
ルーチンワークの継代培養などで
複数本のバラツキを安定させるには
不満足になりやすい

上記を改善をするために
タイテックでは底面照射方式を選択

光照射インキュベーターの課題

光照射のLEDユニットについて(中型)

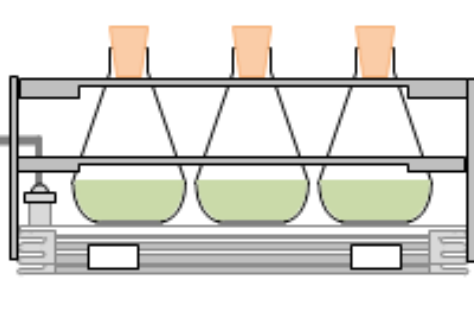
LED照射ユニット
LC-450EXP



1chコントローラー



遮光板SB-5338



MR-4030付き

製品の組合せは、振とう培養器との組合せにより変化します。
中型BRシリーズでは冷凍機付きを推奨

- ・ LED照射ユニット×1枚
- ・ 照度コントローラー1ch用

の組合せとなります。

上記に加えて
光量分布の向上と照射面のキズ防止に
透明スティックシート
固定用にスプリングの振とう台(MR-4030)
遮光板SB-5338のオプションがあります。

光照射を追加するために

光照射のLEDユニットについて(大型)

LED照射ユニット
LC-450EXP



4chコントローラー



BR-300LF2段に
MR-4030L付きで
4chをセット

大型BRシリーズでは

- ・ LED照射ユニット × 最大4枚
- ・ 照度コントローラー4ch用

の組合せとなります。

照度はコントローラーで微調節が可能です。

上記に加えて

光量分布の向上と照射面のキズ防止に

透明スティックシート

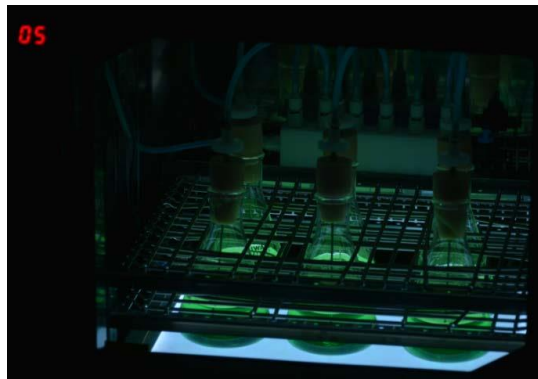
固定用にスプリングの振とう台(MR-4030L)

のオプションがあります。

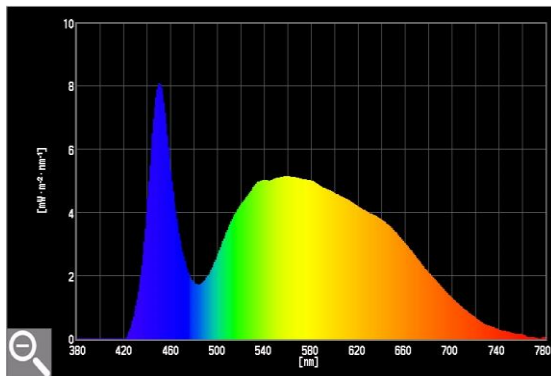
光照射を追加するために

LEDユニットの光量変化について

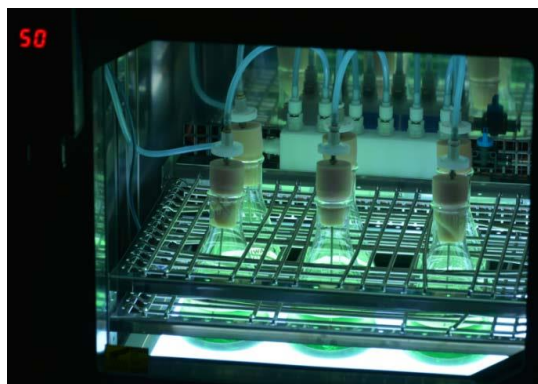
5%設定



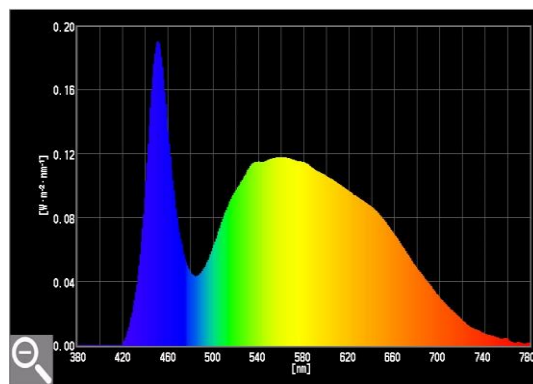
目盛の単位:10mW



50%設定



目盛の単位:10W

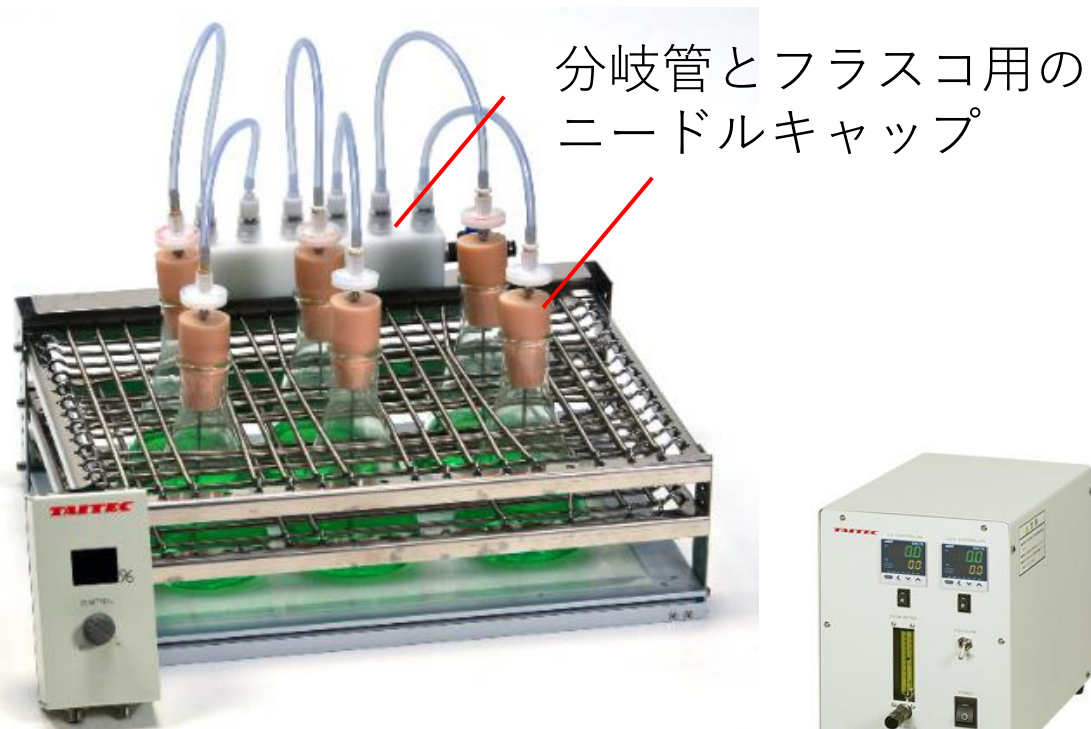


完全遮光の状況から
必要な光量での培養環境の構築が可能です
ストックからのサンプルや
株分けの休眠状態からの低照度での馴化
の行程は必要です
濃度の変化に伴って光量を変化させます

基本的に光量子計にて測定をしながら
培養環境を確定します
光の波長分布は市販の白色LEDと同等です

セコニックC-800にて測定

ガスの分岐管と組み合わせた場合



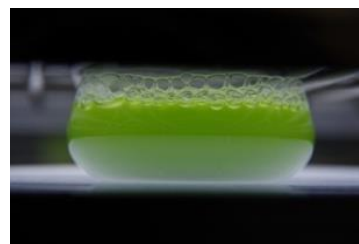
分岐管とフラスコ用の
ニードルキャップ

弊社では専用の分岐管を使用する事で
低流量でフラスコにガスの供給分岐が
出来るシステムの構築が可能です



ガスコントローラー

通常のAIRポンプや
専用のガスコントローラーも組み合わせも可能です



シアノバクテリア培養中

照射ユニットとガスコントローラー
との組み合わせ

藻類培養用のニードルキャップについて



型名	適用フラスコ容量とサイズ
NC100	100mlガラスフラスコ ※1 フラスコ内口径 22~26mm
NC200	200mlガラスフラスコ ※1 フラスコ内口径 24~30mm
NC300	300mlガラスフラスコ ※1 フラスコ内口径 24~30mm
NC500	500mlガラスフラスコ ※1 フラスコ内口径 28~36mm
NC1000	1Lガラスフラスコ ※1 フラスコ内口径 32~42mm

細胞培養用のフラスコキャップと違い
フィルターを介したニードルによるバブリング
ガラスフラスコに対応するシリコセンで
自作による不安定さを解消しています。
このフラスコと底面照射の組合せで
照射の位置などでの差が生まれにくい
培養環境を構築できます。

ニードルキャップについて

通常の振とう機と組み合わせる



旋回振とう機
NR-20との
組み合わせ例

自公転スターラー
GR-5との
組み合わせ例



室温での攪拌で十分な場合
弊社の振とう機 NR-20/30シリーズや
汎用スターラーで培養が可能となります

スターラーと組み合わせる場合は
天板のサイズはLEDユニットより
小さい必要があります

その他の詳細については弊社に
お問い合わせください。

学術と産業に貢献します

TATEC